霧ヶ峰・車山山行報告

【山行日】2018年7月12(木)晴れ時々雨 【集 合】岩舟支所P AM 6:00 【費 用】マイカー1台: 5,500円 【メンバー】CL:鈴木ユ、大西、関、鈴木ヒ、田村 【コースタイム】岩舟支所P6:00=八島湿原 P8:50/9:10~奥霧小屋9:50~ヒュッテみさやま 10:20/10:30~八島湿原P11:10~車山高原スキー場11:25+++リフト山頂駅11:40~車山山頂 11:55/12:30~車山高原スキー場13:35/13:50 =蓼科牧場14:20/14:40=岩舟支所P17:10



四十数年前に初めて車山に登り、山全体がニッコウキスゲに覆われた中を歩き大感動した。 その絶景をもう一度見たいと、ニッコウキスゲの開花状況を確認し今回の霧ヶ峰山行を計画した。 上信越道から中部横断自動車道を進み、佐久南ICで降り国道142号線に入ると渋滞が続いた。



今日は平日なので、通勤渋滞にはまってノロノロ運転が続く。仕方が無く途中から予定を変更し、新望月トンネル先の信号を左折し県道152号線を通り、霧ヶ峰側から八島湿原に行くことにする。これが正解で予定通り八島湿原駐車場に着き、トイレとストレッチを済ませて出発する。曇天だが時々陽が差し、まずまずの天気の中八島湿原に降りて行く。歩き始めから沢山の花に出会え、皆さんご機嫌で軽快に歩いて行く。八島湿原の木道を辿ると、色とりどりの高山植物が咲き目を

楽しませてくれる。ニッコウキスゲやオオバギボウシ、ノアザミ、ハクサンフウロ、ヒオウギアヤメ、

ヤナギラン等々百花繚乱の景色に見とれ中々足が進まない。シカ避けネットのゲートを出て物見石へ向かい、途中奥霧小屋のトイレに寄り休憩する。灌木帯の登山道に入ると空が暗くなり、雨が急に降り出した。レインウェアーを急いで着け山道を進むが、雨が強くなり引き返すことにする。途中の分岐を左折し御射山へ向かい、八島湿原を一周して駐車場に戻り、車山へはリフトを利用し登ることにする。御射山への道は広くて歩き易く、雨の中でも花を見ながら楽しく歩ける。沢渡への分岐で休憩し、トマトやマンゴーを食べ



水分を補給する。雨は小降りになり、空が明るくなってきた。八島湿原の南側の木道を歩き駐車場に向かうが、少し高い所を歩くので湿原全体が見渡せ気持ちが良い。途中で雨が上がり陽射しも戻

り、駐車場では暑いくらいの天気になった。レインウエアーを脱いで、トイレを済ませたら車に乗り車 山高原スキー場に向かう。スキー場のリフト券を購入し、リフト乗り場の列に並んだ。高校生の団体



が多勢並んでいたが、10分くらい待ってリフトに 乗ることが出来た。スカイライナー、スカイパノラ マと2本のリフトを乗り継ぎ山頂駅まで行くが、途 中の山にニッコウキスゲがほとんど無い。鹿の 食害でほとんど無くなり、電気柵で囲われた場 所だけが黄色く咲き乱れていた。四十数年前の 絶景とあまりにかけ離れた無残な光景に愕然と したが、気を取り直し車山に向かって登って行く。 リフト山頂駅から15分頑張って登ると、大きな気 象レーダードームがある山頂に着いた。ここか

らの眺望は素晴らしく、今日は雲が多く遠望は利かないが周囲の山々や車山湿原は良く見える。 山頂の標識前で記念写真を撮り、場所を確保してランチタイムとする。今日の山ご飯は焼きそばと ダシ巻き卵、キュウリの漬物等々。焼きたての焼きそばと、おにぎりを交互に食べると実に美味しい。

T村さんも初めて山頂で焼きそばを食べ、「美味 しい」と大満足の様子。お茶をいただいたら後片 付けをして下山する。下山開始すると空が暗くな り、雨がポツリポツリ落ちてきた。下り始めると 雨が強くなり、途中でレインウエアーを着て山頂 駅の休憩舎に逃げ込む。立派な休憩舎で、大勢 の登山者が雨宿りしていた。15分くらい待つと 雨が小降りになり、下山を開始する。車山乗越ま で急坂を下り、ここから駐車場に向かって信濃 路自然歩道を緩やかに下って行く。途中、何ヶ所 か電気柵で囲われたニッコウキスゲを眺めなが



ら、「以前は全山がこのようにニッコウキスゲで埋め尽くされていたんだよ!」と話しながらのんびり下る。1時間程下るとスカイプラザに着き、トイレを済ませお土産を買って車に乗り帰路につく。いつもの蓼科牧場に寄り、美味しいソフトクリームや搾りたての牛乳をいただく。インター手前の道の駅「ヘルシーテラス佐久南」に寄り、野菜やお土産をゲットし岩舟支所に無事帰着した。